



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (10月29日～11月1日)

1. トルコとイラン間の貿易額の急増 (1日付テヘラン・タイムズ紙)

トルコの統計機関によれば、イランはトルコにとって、独国とロシアに次ぎ3番目の貿易相手国である。過去8カ月間でトルコはイランから89億4,000米ドルを輸入し、イランに対して85億8,000米ドルを輸出している。両国間の貿易は急増しており、2000年は10億米ドル程度であったが、2010年に総額100億米ドルを超えた。

2. 金および金貨の輸出 (1日付イラン・ニュース紙)

イラン中央銀行が発行する許可証なしには、金および金貨の輸出は禁止されることとなった。

3. 統計センターによる失業率に関する報告 (30日付ハムシャフリー紙)

イラン統計センターは、本年 [イラン暦1391年 (2012年3月20日～2013年3月20日)] 夏の失業率は12.4%、失業者は303万2,000人であったと報告した。男性に比べ女性の失業率が高く、地方に比べ都市部が高い。最も失業率が高いのはファールス州 (21.2%) であり、最も失業率が低いのは南ホラーサーン州 (6.3%) であった。

4. 海綿鉄製造プラントの操業開始 (29日付イラン・デイリー紙)

ホルモズガン州で、年産180万トンの海綿鉄 (直接還元法で製鉄した多孔質の鉄) を製造するプラントが10月28日に操業を開始し、アフマディーネジャード大統領が操業式典に出席した。同プラントは1,300人の雇用を生み出す。

5. 追加的な発電所の建設 (30日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

エネルギー省のナムジュー大臣は、2つの追加的な発電所が建設され、本年 [イラン暦1391年 (2012年3月20日～2013年3月20日)] 末までにイランは7万メガワットの発電能力を有すると述べた。現在のイランの発電能力は6.7万メガワットである。同大臣は、国家開発基金および中国のファイナンスが、エネルギー省の主要な支援者となるとした。

6. 電力供給と電力輸出 (1日付ケイハーン・インターナショナル紙)

エネルギー省のアリー・ザビーヒー (Ali Zabihi) 副大臣は、イラン国内では十分な電力供給が行われていると発言した。同大臣は、現在、アルメニア、パキスタン、トルコ、アゼルバイジャン、イラク、アフガニスタンなどへ電力輸出を行っており、電力部門に関しては対イラン制裁の効果は生じていないと述べた。イランは、昨年 [イラン暦1390年 (2011年3月21日～2012年3月19日)]、86億キロワット/時の電力を輸出した。